

【家庭教育支援チーム】

①チーム名 (呼称)	田原本町家庭教育支援チーム (呼称: 田原本にこにこプロジェクト)
②活動拠点	天理教田原本分教会内
③活動範囲	田原本町全域
④組織体制	<u>10</u> 人 教育委員2人・元教員2人・その他6人
⑤活動開始年度	<u>平成30年度</u>
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 岡本 道典 (TEL) 0744-32-2138 (E-mail) ttb-0m@plum.ocn.ne.jp

(2) 活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他 ()
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

<p>③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <p>平成 30 年2月より「田原本にこにこ食堂」を開設し、子どもから大人まで利用していただける地域食堂として、月1回活動。令和2年4月より、食堂形態を変更し、「にこにこおたすけ便」(弁当配食)や「にこにこフードパントリー」(食材提供)を月1回開催し、子育て世帯、一人親世帯、高齢者世帯他お困りの家庭へ食事・食品の提供支援を行っている。コロナ禍が落ち着き次第食堂再開を目指している。(食育サポート)</p> <p>令和2年9月より、コロナ禍による学習格差の懸念から、学習サポート「にこにこクラブ」を開設し、月2回活動。教員免許保持者 3 名の体制で塾などに行けない子供達・保護者の手だすけとして学習支援を行っている。</p> <p>平成3年4月(予定)より、「にこにこ☆おもちゃ図書館」と「保護者向けの「イライラしない子育て講座」を行う予定。おもちゃ図書館は、保護者・子供の憩いの場を提供し、イライラしない子育て講座は、保護者向けの講座として主に児童虐待撲滅のプログラムとして定期的を開催予定である。この講座は、名古屋市が行政として本格的に取り入れているプログラムである。</p>
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<p>平成30年2月～ 「田原本にこにこ食堂」 参加人数 のべ 2034 名 令和2年4月～ 「にこにこおたすけ便」 配布数 900 食 令和2年4月～ 「にこにこフードパントリー」 配布世帯数 150 世帯</p>
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (赤い羽根共同募金、奈良県子ども家庭課より補助金)</p>